

いきいき案内所ニュース

第47号

H30. 8. 30発行



発 社会福祉法人香川県社会福祉協議会
地域福祉課
高齢者いきいき案内所
行 〒760-0017 高松市番町 1-10-35
TEL087-861-0546
http://www.kagawaken-shakyo.or.jp

高齢者いきいき案内所人材バンク登録者交流会『きらりんぐ』全体会 開催報告

8月20日(月) 10:00~15:30 香川県社会福祉総合センター7階第1中会議室

午前の部 10:00~12:00

『知っているようで知らない
しめかざりの世界
～絵本「しめかざり」作者を迎えて～』



しめかざり研究者
森 須磨子氏

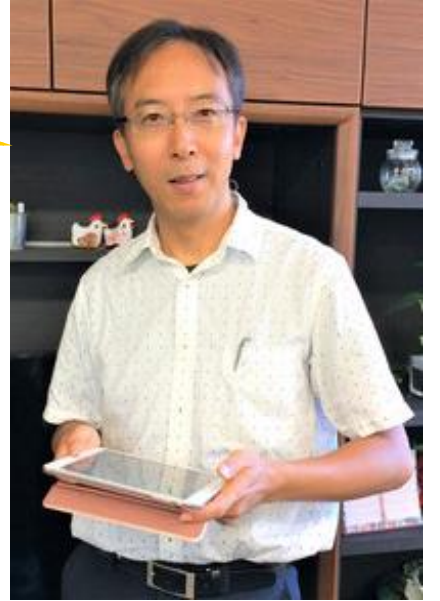
参加者43名

しめなわとしめかざりの違い、歴史、ワラをより合わす“^な緇う”の右^な緇い・左^な緇いの意味、各地のかたち、しめかざりを求めての探訪話など、講師の思いの深さとともに、人それぞれの年神様を迎える解釈などを伺い、新しいお正月の迎え方を教えていただきました。

しめかざりのような伝統を、次の世代に残す大切さから、私たち自身もそれぞれの知識や経験を次の世代につなげていくことが同じように大切だと感じました。

午後の部 13:30~15:30

『人と人が繋がる場づくり
～コミュニケーションゲームの
すすめ～』



脳若トレーニングキラメキデイ
主任コミュニケーター
石原 誠吾氏

参加者40名

参加者へのお願いとして、1. 子ども心で!、2. 勝っても負けてもうらみっこなしよ、3. 相手を否定しないことを約束に始まりました。

英国での孤独担当大臣の新設や、交友関係の広い高齢者ほど高い主観的幸福感を持っている話から、人と人の繋がりを考える時代が来ているように感じました。コミュニケーション・ゲームでは、繋がるプロセスを体感していただきました。

初めて参加された方には、様々な活動者との出会いから、いきいき案内所や、その活動を知っていただく機会になり、その中で自分も活躍したいという思いも生まれました。人と人の繋がりの中で、お互いが元気になっていくことを感じました。

～ 参加者の声 ～

- ◇ しめかざりは、美しいアートだと思いました。
- ◇ 地域によって色々なしめかざりがあることがわかり、しめかざりの知識が深まり、我流のしめかざりを次のお正月に作ってみようかなあと思いました。
- ◇ 何が正しいと決めるのではなく、伝統を守りつつ、自分のものを作れば良いという話に共感しました。
- ◇ 気に留めていなかったが、今回の参加で古い習わしなどを知り、少し気にしてみようと思いました。
- ◇ しめかざりの意味を教えていただき、新年をさらに深い気持ちで、心新たに迎えられます。
- ◇ 風土の中に意味があり、人の数だけしめかざりがあるという言葉が印象的でした。

～ 参加者の声 ～

- ◇ 元気をもらい、とても参考になり、活動に役立てたいです。
- ◇ ゲームを通じて、コミュニケーションの技法が学べました。
- ◇ 聴き手側の表情、態度の大切さを改めて感じました。
- ◇ 色々な方と話が出来たのが良かったです。
- ◇ 楽しい話をするので、心が軽くなったようで、あっというまでした。
- ◇ 自分のステイト(状態)は、自分であげていけることがわかりました。
- ◇ 小さな好奇心を続けることで、大きく実を結ぶ、素敵です。

～ 午前・午後の部で、つなぐ・繋がるを学ぶ全体会となりました。～



オープニング 読み聞かせ『しめかざり』
読み手 田所 なよ子 氏



- 《 内容 》
- ・コミュニケーションとは
 - ・今の自分のステイト(状態)を知る
 - ・肩たたきゲーム
 - ・誕生日並びかえ
 - ・自己紹介、他己紹介
 - ・共通点を探せ
 - ・それは何
 - ・3分間コーチング

分かりやすい説明と
美しい“しめかざり”の写真を交えて



肩たたきゲームは、
覚えやすく、
心も体もほぐしてくれます。



自己紹介では、他己紹介に向けて、
相手の情報をしっかり記録をします。



平成30年度かがわ長寿大学特別講義 パネルディスカッション『できることから始めよう』

～長寿大学卒業生を含むボランティア活動者による～

コーディネーター 石田 盟人 主事

パネリスト 田所 なよ子 氏(サークルことぶき)、佐保 光宥 氏(オカリナサークル夢)、大谷 徳 氏(読み聞かせグループ「ポピィ」)
平池 佳奈枝 専門員(高齢者いきいき案内所 コーディネーター)



佐保 光宥 氏(オカリナサークル夢)



大谷 徳 氏(読み聞かせグループ「ポピィ」)



田所 なよ子 氏(サークルことぶき)



かがわ長寿大学は、受講者が学んだことを地域社会で活かすことも目的としており、地域の活動への参加を促進しています。今回の特別講義では、ボランティア活動者の活動紹介や思いを聞く場として、パネルディスカッションが開催されました。気軽に始められるボランティア活動や、同世代の活動に興味を持っていただけるよう、かがわ長寿大学OBで高齢者いきいき案内所登録団体や個人をパネリストとして選定するなど、県社会福祉協議会も協力しました。当日登壇された皆さんは堂々と発表され、充実した活動の様子や、ボランティア活動だけでなく、趣味や楽しみ、仕事も上手に取り入れられている生活スタイルも十分に伝えられたように思いました。最後に、活動者の先輩として、気負いなく始めましょうとエールを送っていただき、パネルディスカッションを終了しました。登壇者の皆様、おつかれ様でした。

目の見えない方 見えにくい方のための福祉フェスタ2018 参加報告

平成30年8月5日(日) 10:00～15:00
啓発事業 ～目の不自由な人の日常に寄りそってみよう～
同時開催 13:00～15:00



ボランティア活動時間 12:30～15:30

今回は、暑さが厳しいため、50才代ボランティア1名と香川県社会福祉協議会職員で対応しました。当日は、来場者の受け付け案内や各会場案内、誘導、お帰りの際のエレベーター誘導や、エレベーター内の各階のボタンを押すことなどを主にお手伝いしました。今年度は啓発事業も同時開催のため、小学生の親子連れの来場が多く、保護者の方の福祉への関心の高さを感じました。また、視覚に障がいがないように見える方でもエレベーターのボタン等が見えにくいなど、行きかう人の中にさまざまな障がいを持っている方がいることなどが分かり、障がいへの理解をさらに深める機会ができました。

高齢者いきいき案内所 人材バンク登録者交流会『きらりんぐ』

日時 平成30年9月14日(金) 10:00～12:00
場所 香川県社会福祉総合センター6階 和室研修室
内容 「目とメガネについて知ろう!」
「ものはどういう仕組みで見えているの?」
「どうして視力が落ちるの?」
「メガネ選びのコツを知りたい!」などなど、身近な存在なのに実はよく知らない「目とメガネ」について、レンズのプロから学んでみませんか。講座後には「見え方体験」も実施します!
講師 HOYA株式会社 ビジョンケア部門 CSサポート部 三井 義秋 氏 岩田 和雄 氏
対象者 高齢者いきいき案内所人材バンク登録者及団体 電話及びFAXでお申し込みをお願いいたします。
定員 15名程度
お問い合わせ

香川県社会福祉協議会 地域福祉課 石田・平池
☎087(861)0546/FAX087-861-2664



編集後記

このたびの西日本を中心とした豪雨において被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。故郷や知人の住む町での被害状況に、多くの方が心を痛めたことと思います。また、日本各所連日猛暑などにも悩まされましたが、少しずつ秋を感じるようになりました。秋が近づくと、台風による、激しい降雨量が続く場合の避難のタイミングや、避難場所に向かう際の安全な経路について、普段からイメージしながら近隣を歩き、自分が住む環境をよく知っておくことがとても大切です。防災情報メールの登録や、香川県における防災情報は、インターネットを通じて、電子地図上で分かりやすく、公開・提供している「かがわ防災GIS」の利用も自分を守る手立てにつながります。 備えあれば憂いなし。 平池